

大阪公立大学大学院看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程 学生募集要項

2023年度春入学

博士前期課程

〔 一 般 選 抜 〕
〔 社 会 人 特 別 選 抜 〕

博士後期課程

〔 一 般 選 抜 〕



＜新型コロナウイルス感染症への対応について＞

新型コロナウイルス感染症への対応について、最新の情報を Web サイトに掲載します。学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合も以下の Web サイトで公表しますので、随時ご確認ください。



○大阪公立大学入試情報サイト

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/>

2022年5月
大 阪 公 立 大 学

目次

博士前期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
〔1〕 募集人員	3
〔2〕 出願資格	4
〔3〕 研究領域等についての事前相談	5
〔4〕 出願手続	5
1 出願期間	6
2 出願方法	6
3 入学検定料等の支払方法	7
4 出願書類等	8
5 出願についての注意	9
6 受験票について	10
7 受験上・修学上の配慮について	10
〔5〕 入学者選抜方法	10
1 試験科目	10
2 試験日時・配点	11
〔6〕 合格者発表等	11
1 合格者発表	11
2 合格通知書及び入学手続書類	12
〔7〕 入学手続等	12
1 入学手続	12
2 追加合格	12
〔8〕 学費（入学料・授業料）	12
〔9〕 経済支援制度について	13
〔10〕 長期履修制度	13
〔11〕 その他	14
〔12〕 出願資格審査	16
1 出願資格審査の申請について	16
2 受付期間等	17
3 審査の結果	17
看護学研究科博士前期課程の概要	18
看護学研究科博士前期課程 担当教員一覧・問合せ先	27

博士後期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	29
〔1〕 募集人員	29
〔2〕 出願資格	30
〔3〕 研究領域等についての事前相談	31
〔4〕 出願手続	31
1 出願期間	31
2 出願方法	31
3 入学検定料等の支払方法	32
4 出願書類等	33
5 出願についての注意	34
6 受験票について	35
7 受験上・修学上の配慮について	35
〔5〕 入学者選抜方法	35
1 試験科目	36
2 試験日時・配点	36
〔6〕 合格者発表等	36
1 合格者発表	36
2 合格通知書及び入学手続書類	37
〔7〕 入学手続等	37
〔8〕 学費（入学料・授業料）	37
〔9〕 経済支援制度について	37
〔10〕 長期履修制度	38
〔11〕 その他	39
〔12〕 出願資格審査	40
1 出願資格審査の申請について	40
2 受付期間等	41
3 審査の結果	42
看護学研究科博士後期課程の概要	43
看護学研究科博士後期課程 担当教員一覧・問合せ先	47
本学所定様式	48
交通アクセス・問合せ先	巻末

博士前期課程

助産師資格取得プログラムについて

本学大学院看護学研究科において、2023 年度より助産師資格取得プログラムを開設する予定です。
(助産師学校指定申請中、8 月末承認予定)

看護学研究科博士前期課程の入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

●博士前期課程

博士前期課程は、生命と人権の尊重を基盤として、看護に求められる社会的使命を遂行し、看護学を実践的・創造的に発展させ、地域社会及び国際社会のあらゆる健康レベルの人々に貢献できる高度な看護分野の実践者、管理者、教育者、研究者を育成することを目指しています。

したがって、本研究科の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針を踏まえ、次の能力や適性を身につけた学生を求めています。

【能力】

- ・英語論文を読解できる基礎的語学力を有する人
- ・論理的思考を表現する能力を有する人
- ・豊かな人間性と倫理観を備え、人々と協働できる人
- ・看護学の基礎知識と総合的な学力を有する人

（実践看護科学領域修士論文コース、実践看護研究コースのみ）

【意欲】

- ・保健医療福祉におけるニーズや課題を探究する意欲を有する人
- ・みずからの将来を見据え、主体的に学ぶ姿勢と、研究を遂行する意欲を有する人
- ・看護に関わる事象を分析し、看護実践の質向上と改革を推進する意欲を有する人

（実践看護科学領域の修士論文コース、実践看護研究コースのみ）

【志向】

- ・修士論文コースでは研究科の教育目的や教育目標を理解し、学術志向性を有する人
- ・看護に関わる事象の変革に寄与できるエビデンスを構築するために現象に真摯に向き合い、理論的に考え探究する人
- ・高度専門職業人として、医療施設、行政、社会福祉施設、地域などにおいて、看護実践、看護教育、並びに看護学の発展に貢献する志向を有している人

（実践看護科学領域実践看護研究コースのみ）

- ・看護実践の変革のための研究者、実践家になるために目的意識を持って主体的に学び、地道な努力を重ねることができる人（実践看護科学領域の実践看護研究コースのみ）

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、以下をご確認ください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/assets/14_Nursing_3Policy_MD.pdf

〔1〕募集人員

専 攻	入学定員	募集人員
看護学	50 名	50 名

注 募集人員は、助産師資格取得プログラム6名（女子のみ）を含みます。

選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合や募集人員よりも多くなる場合があります。

※ 第2次募集を実施する場合は、2022年9月に、第3次募集を実施する場合は2022年12月に、本学Webサイトでお知らせします。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs.html

領域・分野

○実践看護科学領域

実践看護科学領域は「修士論文コース」と「実践看護研究コース」を開設しています。

「修士論文コース」は一般選抜と社会人特別選抜を実施します。

「修士論文コース」のうち、母性看護・助産学 助産師資格取得プログラムは、一般選抜のみ実施します。

「実践看護研究コース」（CNS：専門看護師、看護教育者、看護管理実践者）は、一般選抜のみ実施します。

（実践看護研究コース及び助産師資格取得プログラムでは、社会人特別選抜での学生募集は行いません。）

	分野名		コース名			
			修士論文 コース	実践看護研究コース		
				CNS (専門看護師)	看護教育者	看護管理 実践者
実践 看護 科学 領域	基礎 看護科学	看護技術学	○			
		看護情報学	○			
		看護管理学	○			○
		看護教育学	○		○	
	生活支援 看護科学	精神看護学	○	○		
		在宅看護学	○	○		
		地域看護学	○			
		老年看護学	○	○		
	家族支援 看護科学	小児看護学	○	○		
		家族看護学	○	○		
		母性看護・助産学	○			
		母性看護・助産学 (助産師資格取得プログラム)				
	療養支援 看護科学	急性看護学	○	○		
		がん看護学	○	○		
		慢性看護学	○	○		
		感染看護学	○	○		

○先進ケア科学領域

先進ケア科学領域は「修士論文コース」を開設しています。

一般選抜と社会人特別選抜を実施します。

	分野名		コース名
			修士論文コース
先進 ケ ア 科 学 領 域	ケアシステム 科学	ヒューマンケア科学（※）	○
		療養ケア科学	○
		子ども・家族ケア科学	○
		地域包括ケア科学	○
		ヘルスプロモーションケア科学	○
	生体行動 ケア科学	がん包括ケア科学	○
		高齢者生活行動ケア科学	○
		ウィメンズヘルスケア科学	○
		精神行動ケア科学	○
		健康支援基礎科学	○

※2023 年度はヒューマンケア科学小分野の学生募集は行いません。

〔2〕出願資格

【一般選抜】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び 2023 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2023 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 昭和 28 年文部省告示第 5 号をもって文部科学大臣の指定した者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2023 年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了すること

を含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2023 年 3 月までに授与される見込みの者

- (9) 2023 年 3 月末で、大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023 年 3 月 31 日現在において 22 歳以上のもの

注 1 出願資格(9)から(11)により出願しようとする者は、出願前に「〔12〕出願資格審査」を受ける必要があります。

2 出願資格(11)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者であっても、本研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものです。

3 助産師資格取得プログラムの受講者は、母性看護・助産学 助産師資格取得プログラムに出願し合格した者に限ります。入学手続完了後、コース変更等により同プログラムを受講することは認められません。

【一般選抜】（助産師資格取得プログラム）

一般選抜（助産師資格取得プログラム）に出願することのできる者は、前記の出願資格(1)から(11)のいずれかに該当する者で、看護師免許を有する者（2023 年 3 月 31 日までに取得見込みの者を含む。）。

なお、助産師免許を有する者（2023 年 3 月 31 日までに取得見込みの者を含む。）は、出願することができません。

【社会人特別選抜】

社会人特別選抜に出願することのできる者は、前記【一般選抜】の出願資格(1)から(8)のいずれかに該当する者で、同資格取得後、通算 3 年以上（2023 年 3 月までの見込みを含む。）の実務経験を有し、かつ本研究科の趣旨に合致した研究課題を持ち、意欲的に学ぶ姿勢がある者。

注 実務経験とは、保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許を取得のうえ、看護職として携わった業務に関する経験を指します。

〔3〕研究領域等についての事前相談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要です。出願前に希望する研究指導教員に必ず相談して事前面談を受けてください。

なお、研究分野・領域及び指導教員名は「看護学研究科博士前期課程担当教員一覧・問合せ先」（27 ページ）を参照し、指導教員への連絡は直接メールで行ってください。

事前面談後、事前面談を受けた教員から事前面談確認書（本学所定の様式）の所定欄に、署名を受けてください。事前面談確認書は出願する場合に必要となります。

〔4〕出願手続

出願手続は、インターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。

1 出願期間

	第1次募集	第2次募集	第3次募集
インターネット 出願登録期間	2022年7月1日(金)10:00～ 2022年7月13日(水)17:00	2022年11月4日(金)10:00～ 2022年11月11日(金)17:00	2023年1月25日(水)10:00～ 2023年1月31日(火)17:00
出願書類 提出期間	2022年7月6日(水)～ 2022年7月13日(水) ＜7月13日までの消印有効＞	2022年11月7日(月)～ 2022年11月11日(金) ＜11月11日までの消印有効＞	2023年1月26日(木)～ 2023年1月31日(火) ＜1月31日までの消印有効＞

(※) 出願書類は簡易書留郵便により郵送してください。本学へ直接持参しても受理できません。

2 出願方法

次の step 1～step 6 の手順で出願を行ってください。

●事前準備											
step 1	<table> <tr> <td>パソコン等の 動作環境</td><td>・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。</td></tr> <tr> <td>印刷環境</td><td>・郵送が必要な書類を A4 サイズの白の用紙で印刷します。</td></tr> <tr> <td>メール設定</td><td>・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。</td></tr> <tr> <td>出願に必要な 書類</td><td>・〔4〕出願手続 4 出願書類等 を参照の上、〔4〕出願手続 1 出願期間 の出願書類提出期間に間に合うようあらかじめご用意ください。</td></tr> <tr> <td>出願書類等 封入用封筒</td><td>・市販の角 2 号封筒 (24cm×33.2cm) を用意し、「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類等を封入してください。 ※「宛名ラベル」は「step 5」を確認してください。</td></tr> </table>	パソコン等の 動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。	印刷環境	・郵送が必要な書類を A4 サイズの白の用紙で印刷します。	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。	出願に必要な 書類	・〔4〕出願手続 4 出願書類等 を参照の上、〔4〕出願手続 1 出願期間 の出願書類提出期間に間に合うようあらかじめご用意ください。	出願書類等 封入用封筒	・市販の角 2 号封筒 (24cm×33.2cm) を用意し、「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類等を封入してください。 ※「宛名ラベル」は「step 5」を確認してください。
パソコン等の 動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。										
印刷環境	・郵送が必要な書類を A4 サイズの白の用紙で印刷します。										
メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。										
出願に必要な 書類	・〔4〕出願手続 4 出願書類等 を参照の上、〔4〕出願手続 1 出願期間 の出願書類提出期間に間に合うようあらかじめご用意ください。										
出願書類等 封入用封筒	・市販の角 2 号封筒 (24cm×33.2cm) を用意し、「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類等を封入してください。 ※「宛名ラベル」は「step 5」を確認してください。										



●インターネット出願サイトにアクセス	
step 2	・本学 Web サイトにアクセスの上、出願登録期間中（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）にインターネット出願サイトにアクセスしてください。 本学 Web サイト URL https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html 



●出願登録	
step 3	・インターネット出願サイトの「利用案内」「出願手順」「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ※出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。



step 4	●入学検定料等の支払い
--------	-------------

	・インターネット出願サイトの指示に従って、次の（１）から（４）のいずれかの方法で、入学検定料（30,000 円）をお支払いください。（〔４〕出願手続 3 入学検定料等の支払方法 参照） ・入学検定料の他に、支払手数料（990 円）が必要となります。			
	（１）	（２）	（３）	（４）
	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM（ペイジー）	ネットバンキング



step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷 ・登録したユーザーID、パスワードにて再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4 サイズの白の用紙に片面で印刷してください。 ※インターネット出願登録期間内（〔４〕出願手続 1 出願期間 参照）に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。
--------	---



step 6	●出願書類の郵送 ・〔４〕出願手続 4 出願書類等 を参照の上、出願書類を簡易書留郵便により郵送してください。 ※出願書類提出期間に必要な書類が到着しなければ、出願は受理できませんので、郵便事情を十分考慮し、余裕を持って郵送してください。（〔４〕出願手続 1 出願期間 参照）
--------	--

3 入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000 円
- ・支払手数料 990 円

支払方法は、次の４種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
（１）クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club （注）支払方法は、一括払のみです。
（２）コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート （注）支払方法は、現金のみです。
（３）ATM（ペイジー）	金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。
（４）ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 （注）ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

4 出願書類等

インターネット出願サイトにて出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を全てそろえて出願書類提出期間に提出してください。出願書類等は、必ず以下の「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。

本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードすることもできます。

（A4 サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限り PC 等での作成も可。手書きの場合は、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、本人が記入してください。）

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs.html

【注意事項】

- ・氏名が卒業証明書、成績証明書等の氏名と異なる場合は、そのことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。※原本（コピー不可）
- ・和文、英文以外のものについては、公的機関（出身大学等）の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。個人の署名や印では認めません
- ・出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・必要に応じて、追加書類の提出を求めることがあります。

【一般選抜】

1	出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズの白の用紙に印刷してください。
2	入学願書	本学所定の様式に必要な事項を記載すること。
3	卒業（見込）証明書 ※原本（コピー不可）	出身大学長又は、学部長等が作成したもの。 （〔2〕出願資格(9)から(11)により出願する者は不要です。）
4	成績証明書 ※原本（コピー不可）	出身大学長又は、学部長等が作成したもの。 ※編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。 （〔2〕出願資格(9)から(11)により出願する者は不要です。）
5	事前面談確認書	本学所定の様式。 事前面談確認書に志望する分野の教員の署名を受けたもの。 （注） <u>事前の出願資格審査に提出した者は、省略できます。</u>
6	学位授与証明書 又は 学位授与申請受理証明書 ※原本（コピー不可）	〔2〕出願資格(2)に該当する者は提出してください。 （授与申請を行う者は、出身学校長等が作成した「学位授与申請予定者である旨の証明書(様式任意)」を提出すること。）
7	出願資格認定通知書	〔2〕出願資格(9)から(11)により出願する者のみ提出してください。
8	写真票	本学所定の様式に必要な事項を記載し、写真票には縦4cm×横3cmの写真（上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。
9	宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。

【一般選抜】（助産師資格取得プログラム）

一般選抜により母性看護・助産学 助産師資格取得プログラムを出願しようとする者は、前記の出願書類に加えて次の書類を提出してください。

10	看護師免許証(写し)	看護師免許証の写しを提出してください。 看護師免許取得見込みの方は入学手続後、免許証が交付された時点で写しを提出していただきます。
----	------------	--

【社会人特別選抜】

社会人特別選抜により出願しようとする者は、前記【一般選抜】の出願書類に加えて次の書類を提出してください。

10	看護師等免許証(写し)	看護師・保健師・助産師のうち所持している免許証の写しを提出してください。
11	在職期間証明書	通算3年以上(2023年3月までの見込を含む。)の実務経験を有することの所属長等の証明書
12	志望する領域に関する実績	志望する領域に関する看護実践及び研究発表・論文等の活動をA4用紙に記載し、提出してください(任意様式)。
13	研究課題書	大学院博士前期課程において研究する予定の研究課題について、A4用紙で記載してください(任意様式)。表紙には、出願者の氏名、志望する研究領域、研究指導を希望する教員名を明記してください。

5 出願についての注意

- (1) 〔4〕出願手続 1 出願期間 内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて出願書類提出期間最終日までの消印有効）の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。
- (2) 志願者情報の入力について
住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。
- (3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。
- (4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。
- (5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。
- (6) 既納の入学検定料は次の事由以外は還付しません。

○還付可能な事由

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込みした場合

（注）還付方法等は、出願書類提出期間最終日から1か月以内に入試課に問い合わせてください。

※インターネット出願サイトの操作方法に関する問い合わせは、出願サイトで確認してください。

6 受験票について

受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録したメールアドレスあてに通知します。通知後、インターネット出願サイトにユーザーID・パスワードを入力し、A4 サイズの白の用紙に受験票の印刷を各自で行ってください。

試験日 2 週間前になってもメールが届かない場合は、必ず看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス）までご連絡ください。

なお、受験票は試験当日忘れずに持参してください。

7 受験上・修学上の配慮について

障がいがある等、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、原則として以下の期日までに、看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス）に申し出てください。

第 1 次募集	第 2 次募集	第 3 次募集
2022 年 7 月 1 日 (金)	2022 年 10 月 28 日 (金)	2023 年 1 月 11 日 (水)

〔5〕 入学者選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。試験会場は、本学阿倍野キャンパス看護学科学舎（JR「天王寺駅」、大阪メトロ「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩 10 分）です。

受験の際には、各自で印刷した受験票を必ず持参してください。

1 試験科目

- (1) 専門科目 各専門分野に関わる知識を確認します。

志望する小分野の科目を一つだけ受験してください。（一般選抜のみ）

○実践看護科学領域

＜科目＞ 看護技術学 看護情報学 看護管理学 看護教育学
精神看護学 在宅看護学 地域看護学 老年看護学
小児看護学 家族看護学 母性看護・助産学
急性看護学 がん看護学 慢性看護学 感染看護学

○先進ケア科学領域

＜科目＞ 療養ケア科学 子ども・家族ケア科学 地域包括ケア科学
ヘルスプロモーションケア科学 がん包括ケア科学
高齢者生活行動ケア科学 ウィメンズヘルスケア科学
精神行動ケア科学 健康支援基礎科学

- (2) 英語 医療・保健・福祉・看護に関わる英語論文や英文記事をもとに、和訳、読解問題を課します。英和又は和英辞典を 1 冊のみ持込可（電子辞書は不可）とします。

- (3) 口述試験 指導的かつ実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、ならびに志望する

研究課題について行います。

- (4) 出願書類審査 出願書類として提出された「志望する領域に関する実績」及び「研究課題書」について評価します。(社会人特別選抜のみ)

2 試験日時・配点

(1) 試験日

第1次募集	第2次募集	第3次募集
2022年8月29日(月)	2022年12月10日(土)	2023年2月11日(土・祝)

(予備日)

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

第1次募集	第2次募集	第3次募集
2022年8月31日(水)	2022年12月17日(土)	2023年2月12日(日)

※なお、博士前期課程の試験日に自然災害等の影響を直接受けない場合でも、予備日に試験を実施する場合があります。

※試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトにてお知らせしますので、確認してください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs.html

(2) 試験時間割・配点

【一般選抜】

科目名	時間	配点
専門科目	9:00～10:30	100点
英語	11:15～12:45	50点
口述試験	14:00～	100点

【社会人特別選抜】

科目名	時間	配点
英語	11:15～12:45	100点
口述試験	14:00～	100点
出願書類審査	—	50点

〔6〕合格者発表等

1 合格者発表

第1次募集	第2次募集	第3次募集
2022年9月13日(火)10:00	2022年12月22日(木)10:00	2023年2月20日(月)10:00

合格者については、本人あてに通知します。また、合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。
https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html
Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10 時から合格者発表日を含む 7 日目の 17 時までです。
なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。



2 合格通知書及び入学手続書類

合格者には、合格通知書とともに、入学手続書類等を送付します。

〔7〕入学手続等

1 入学手続

	第 1 次募集	第 2 次募集	第 3 次募集
提出期限（必着）	2022 年 9 月 22 日（木）	2023 年 1 月 17 日（火）	2023 年 3 月 15 日（水）

- ・郵送で期限内必着です。ただし、上記期限を過ぎて書類が到着した場合、期限 2 日前の消印有効として受理します。
- ・手続きの詳細については、合格者に通知します。
- ・入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

2 追加合格

追加合格は、母性看護・助産学 助産師資格取得プログラムにおいて、第 1 次募集における入学手続完了者が募集人員（6 名）に達しなかった場合に行うことがあります。追加合格を実施する場合は、9 月中に追加合格候補者に入学願書記載の連絡先に電話で直接連絡し、本人の意思確認を行います。入学手続の方法については、追加合格者へ個別に説明します。

なお、最初の連絡から 2 日以内に入学意思が確認できない場合は、候補者から除外されます。

〔8〕学費（入学料・授業料）

現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。

1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の 1 年以上前（2023 年春入学者の場合は 2022 年 4 月 1 日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

- ・入学料は、入学手続日までに所定の振込用紙にて納付してください。
- ・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、入学を辞退した場合でも入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。博士前期課程入学手続者で「大阪公立大学・大阪公立大学高専等の授業料等支援制度」に申請予定の場合でも、必ず入学料を納付した上で入学手続をしてください。入学後、本制度の申請者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います。

2 授業料 [年額] 535,800 円

- ・授業料は年額の 1/2 を半期毎に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5 月 27 日、後期：10 月 27 日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が上記と異なることがあります。

3 その他の必要経費

- ・学生保険（日本看護学校協議会共済会総合補償制度「will」）の保険料
- ・研究・実習ための経費など

〔9〕経済支援制度について

【＜大阪府の支援＞大阪公立大学等授業料等支援制度】

大阪府では、親の経済事情や家庭の個別事情によって、大阪の子どもたちが進学を諦めることなくチャレンジできるよう、大阪で子育てをしている世帯への支援として、国の制度に府の独自制度を加え、授業料等の無償化(減免)を実施します。詳しくは、下記 Web サイトをご確認ください。

＜大阪府公式サイト 大阪公立大学・大阪公立大学高専等の授業料等支援制度＞

<https://www.pref.osaka.lg.jp/fukatsu/musyo/index.html>

※上記制度は、一般選抜のみ対象となります。



※各種経済支援制度の申請等の詳細については、確定次第、改めて大阪公立大学の Web サイトにてご案内します。

〔10〕長期履修制度

職業を有している等の事情により標準修業年限での就学が困難な方に対して、標準修業年限（博士前期課程 2 年）を超えて一定の期間にわたり計画的な教育課程の履修を認めるものです。

(1) 申請資格

長期履修の申請は、博士前期課程に入学しようとする者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 育児・介護等の事情を有する者
- ③ その他、相当の理由があると認められる者

(2) 長期履修期間

長期履修期間は、3～4 年間で研究科が認める期間とします。

- ・1 年を単位とし、長期履修を適用せずに在学する期間を通算して在学年限を超えないものとします。（修了による短縮は年度途中でも可とする。）

例) 申請資格のある合格者が、入学手続き時に最長の長期履修を申請する場合

2 年（標準修業年限）－0 年（在学期間）＝2 年×2 倍＝4 年（長期履修期間）

- ・入学後に申請できる長期履修期間は、修業年限から在学期間を差し引いた期間の 2 倍以内とします。

例) 申請資格のある 1 年次生が、次年度より長期履修制度を利用する場合

2 年（標準修業年限）－1 年（在学期間）＝1 年×2 倍＝2 年（長期履修期間）

(3) 申請手続

本研究科の入学者選抜に合格した者のうち、長期履修を希望する場合は、指導予定教員と相談の上、申請書類を提出してください。

(4) 申請期限

入学手続書類にて別途お知らせいたします。

(5) 申請書類

① 長期履修願

② 次に定める申請資格の確認できる書類

区 分	必要書類
職業を有し、就業している者	在職証明書又はそれに代わるもの
育児、介護等の事情を有する者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第3者等の申立書等のいずれか
その他、相当の理由があると認められる者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第3者等の申立書等のいずれか

(6) 可否の認定

申請書類を審査のうえ、許可の可否を決定し、出願者へ通知します。

(7) 授業料

長期履修制度の申請が認められた場合、徴収する授業料の年額は、長期履修期間に限り、授業料の年額に修業年限に相当する年数を乗じた額を長期履修期間の年数で除した額とします。納付する授業料総額は基本的に正規の金額(2年間分)に等しくなります。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることになります。

(8) 期間短縮申請

長期履修を認められた者が、入学後、当該履修期間短縮を希望する場合には、本研究科が定める期間において長期履修短縮申請書を提出し、期間を短縮することができます。

また、修了の期間の短縮は、年度途中でも可能です。

(9) 注意事項

① 長期履修制度を希望する者は、志望分野の教授に必ず事前に相談し、了承を得てください。

② 博士前期課程の在学年限は4年です。長期履修を認められた者も在学年限は4年となります。

③ 申請をした者は必ず長期履修が承認されるということではありません。

④ 前期課程においては、下記分野の実践看護研究コース(CNSコース)は長期履修制度を適用しておりません。

<小児看護CNS、家族支援CNS、急性・重症患者看護CNS、がん看護CNS、感染症看護CNS>

〔11〕その他

1 個人情報保護の取扱いについて

(1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計

資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

- (2) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

2 個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供期間

第1次募集	第2次募集・第3次募集
2022年11月1日（火）10:00～ 2022年11月30日（水）15:00	2023年5月9日（火）10:00～ 2023年6月9日（金）15:00

(2) 提供対象者

受験者本人に限ります。

(3) 請求方法

下記 URL にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/score.html



ア 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず4桁の成績開示用暗証番号を登録してください。成績開示用暗証番号は、出願登録時にのみ登録できます。成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますが、取扱いに十分注意してください。

イ 成績開示用パスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。

例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「987654」の場合は「1230987654」となります。

ウ 本人確認として生年月日の入力が必要です。

- 3 出願書類に虚偽があった場合、または入学者選抜において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- 4 出願資格認定による出願者で、本研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- 5 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規程を定め、物品の輸出及び技術の提供の観点から厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
- 6 希望者には去年度の入試問題を配付します。また、送付希望者に対して郵送（ただし、送料は送付希望者負担）も行っています。

【窓口】

大阪公立大学大学院看護学研究科事務室

- ・阿倍野キャンパス 看護学研究科学務課事務室 TEL 06-6645-3511
- ・羽曳野キャンパス 羽曳野キャンパス事務所入試担当 TEL 072-950-2117

受付時間 月～金曜日（祝日及び休業日を除く）9:00～17:00（12:00～12:45を除く）

※郵送希望の場合は、羽曳野キャンパスが窓口となります。

〔12〕出願資格審査

〔2〕出願資格(9)から(11)に該当する者が対象です。

1 出願資格審査の申請について

必ず看護学研究科事務室（阿倍野キャンパス）へ事前連絡をし、出願資格審査申請書（本学所定の様式）を本学 Web サイトからダウンロードし、A4 サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs.html

注 1 旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わったことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。※原本（コピー不可）

注 2 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。個人の署名や印では認めません。

①出願資格(9)(10)により出願しようとする者

資格審査対象者は、次のとおりです。

ア 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者(いずれも2023年3月までの見込みを含む)で、所定の単位を優れた成績をもって修得し、在学の学長等の推薦のあるもの

イ 前記アにより本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得し、在学の学長等の推薦のあるもの

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	出身大学・学部の成績証明書	学長又は学部長が発行したもの
3	出身大学・学部の推薦書	本学所定の様式を用い、学長又は学部長が作成したもの(厳封)
4	出身大学・学部等の規定等	外国の教育課程を卒業した場合のみ提出 学則及びシラバス、又はこれに相当するもの(コピー可)
5	結果通知用封筒	返信用封筒(長形3号 23.5cm×12cm)に404円分(※)の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金320円と定形郵便84円分。郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

②出願資格(11)により出願しようとする者

資格審査対象者は、看護系の短期大学、専修学校等を卒業又は修了した後、次の年数以上(2023年3月までの見込みを含む)、実務経験を有する者です。

ただし、実務経験とは、保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許を取得のうえ、看護職として携わった業務に関する経験をいうものとします。

2年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 2年以上

3年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 1年以上

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	出身学校(看護系すべて)の卒業・修了証明書	学校長が発行したもの
3	出身学校(看護系すべて)の成績証明書	学校長が作成したもの

4	出身学校（看護系すべて）の規定等	外国の教育課程を卒業した場合のみ提出 学則又はこれに相当するもの（コピー可）
5	保健師、助産師、看護師免許（写し）	免許を有する者は、免許証の写しを提出してください。
6	在職期間証明書	実務経験を有することの所属長等の証明書
7	結果通知用封筒	返信用封筒（長形 3 号 23.5cm×12cm）に 404 円分（※）の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金 320 円と定形郵便 84 円分。郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

2 受付期間等

第 1 次募集	第 2 次募集	第 3 次募集
2022 年 6 月 21 日（火）～ 2022 年 6 月 23 日（木）必着	2022 年 10 月 25 日（火）～ 2022 年 10 月 27 日（木）必着 2022 年 10 月 24 日（月）～ 2022 年 10 月 31 日（月）必着	2023 年 1 月 16 日（月）～ 2023 年 1 月 18 日（水）必着

（注）簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。

送付先（問合せ先）

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町 1 丁目 5 番 17 号

大阪公立大学 阿倍野キャンパス 看護学研究科学務課事務室

Tel 06 - 6645 - 3511

（注）封筒の表には「看護学研究科博士前期課程出願資格審査書類在中」と「赤色」で書いてください。

3 審査の結果

申請書類により審査し、出願書類提出期間最終日の 1 週間前までに郵送で通知します。

なお、2023 年度本研科入学者選抜に限り有効です。

看護学研究科博士前期課程の概要

1. 教育理念

生命と人権の尊重を基盤とし、保健医療福祉および社会の諸変化に対して人々のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）を志向した創造的・豊かな実践や研究をけん引できる実践者、研究者、教育者を育成し、看護学および地域の発展と国際社会に貢献します。

2. 教育目的・目標

人間の存在と生命の尊厳を深く理解し、広い視野に立ち、精深なる学識を深め、高い倫理観を持った変革者、リーダーとしての実践的能力、研究的能力を有する人材を育成することを目的とします。

3. 教育課程

博士前期課程には、研究的取り組みを志向する修士論文コースと多様な側面から看護実践の質の向上を図ることに貢献できる高度実践看護者、看護教育者、看護管理実践者を養成する実践看護研究コースを置いています。

修士論文コースには、看護師の資格取得の有無に関わらず主に学際的に探究する思考力を有する人材を育成する先進ケア科学領域と、看護師の資格取得者を対象に主に看護に関わる事象を分析し、理論的に探究できる能力を有する人材を育成する実践看護科学領域を配置しています。

先進ケア科学領域にはケアシステム科学、生体行動ケア科学の2分野を置き、実践看護科学領域では基礎看護科学、家族支援看護科学、生活支援看護科学、療養支援看護科学の4分野を置いています。高度実践看護者、看護教育者、看護管理実践者を養成する実践看護研究コースは、実践看護科学領域に配置しています。

表 教育課程（博士前期課程）実践看護科学領域

	分野名		コース名			
			修士論文 コース	実践看護研究コース		
				CNS (専門看護師)	看護教育者	看護管理 実践者
実践看護科学領域	基礎看護科学	看護技術学	○			
		看護情報学	○			
		看護管理学	○			○
		看護教育学	○		○	
	生活支援看護科学	精神看護学	○	○		
		在宅看護学	○	○		
		地域看護学	○			
		老年看護学	○	○		
	家族支援看護科学	小児看護学	○	○		
		家族看護学	○	○		
		母性看護・助産学	○			
		母性看護・助産学 (助産師資格取得プログラム)				
	療養支援看護科学	急性看護学	○	○		
		がん看護学	○	○		
		慢性看護学	○	○		
		感染看護学	○	○		

表 教育課程（博士前期課程）先進ケア科学領域

	分野名		コース名
			修士論文コース
先進 ケ ア 科 学 領 域	ケアシステム 科学	ヒューマンケア科学	○
		療養ケア科学	○
		子ども・家族ケア科学	○
		地域包括ケア科学	○
		ヘルスプロモーションケア科学	○
	生体行動 ケア科学	がん包括ケア科学	○
		高齢者生活行動ケア科学	○
		ウィメンズヘルスケア科学	○
		精神行動ケア科学	○
		健康支援基礎科学	○

各分野の特色は次に示す通りです。

領域	分野名		概要
実践 看 護 科 学 領 域	基礎 看護科学	看護技術学	看護問題の解決に用いられる看護技術の科学的根拠やそれに関連する理論について探求し、看護実践の場において提供される看護技術の実証的、開発的な研究を行う。
		看護情報学	看護保健情報を活用・分析・解釈する力を養う。また、疫学や統計学を基盤とした量的研究で、臨床・職域・地域における療養行動支援、予防行動支援、意思決定支援、情報提供等に資する研究を行う。
		看護管理学	急速に変化する社会情勢とそれに対応する保健・医療・福祉システムを管理の視点から分析し、看護管理上の課題を明らかにするとともに、看護サービスの質の向上に寄与する看護管理のあり方を多角的に検討する。管理上の資源である人的・物的・経済的資源等を対象に、看護管理実践に根ざして実証的に研究する。
		看護教育学	看護基礎教育と継続教育という側面から看護教育の本質を探究し、専門的な理論を基盤とした看護教育方法を修得する。また、看護教育に関する諸理論および関連学問を活用して、看護ケアの質を高めるための教育的役割と機能、教育方法等についての研究を行う。
	生活支援 看護科学	精神看護学	精神医療・保健・福祉の変遷に伴い拡大した看護の役割をふまえ、精神の健康を維持増進する看護に必要な、理論や概念、および対象に即した専門的実践方法を修得する。また、精神看護の活動の志向性に沿った効果的な実践方法を探求する。
		在宅看護学	在宅療養者とその家族のアセスメント及びケアマネジメントの理論と方法論、専門的看護実践の技法を修得する。また、地域の生活と文化に依拠した看護の探求及び在宅ケアシステムの構築、ケアの質評価、教育、連携・調整、経営管理について修得するとともに、その課題に関する実証的な研究を行う。
		地域看護学	個人、集団、地域・組織の特性に応じた健康の維持・増進を目指し、対象の現状とニーズ把握、支援方法や社会資源の開発、連携のあり方等について探求する。また、個人、家族および集団の健康指標、

領域	分野名		概要
実践看護科学領域			コミュニティやその構成員に関する質的・量的評価、顕在・潜在的健康課題の解決に向けた実践的研究を行う。
		老年看護学	老年期特有の健康課題やサポートシステムを理解し、看護理論を基盤とした効果的な看護実践方法を探求する。また、高齢者とその家族への看護、高齢者ケアを担う専門職との連携・調整などに関する実践的な研究を行う。
	家族支援看護科学	小児看護学	現代社会の背景、親子関係、成長発達理論等をふまえて、子どもとその家族の健やかな成長発達のための援助方法を探求する。また、先天性疾患、急性疾患、慢性疾患、ハンディキャップ、メンタルヘルスの問題など、さまざまな状況にある子どもとその家族が抱える発達や健康に関する課題への看護援助について実証的な研究を行う。
		家族看護学	家族を看護の対象とし、家族が本来有する機能と家族の健康に関するケア機能を高める援助を探求する。また、家族に生ずる健康問題、それに関連した要因への看護援助について家族看護の諸理論を活用し、実証的な研究を行う。
		母性看護・助産学	マタニティサイクルにおける母子と家族の健康維持、増進ならびに疾病予防に対する看護支援、女性とパートナーのリプロダクティブヘルス/ライツの促進活動に寄与する看護について諸理論を活用して実証的研究を行う。また、医療・学校・福祉の多職種連携による協働支援について追究し、実践的研究を行う。 助産師資格取得プログラムでは、望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラムに準拠した教育課程により、自律した助産ケア、母子への包括ケア、管理的・経営学的知識などを有する専門職者を育成する。
	療養支援看護科学	急性看護学	周手術期及びクリティカルな状況にある患者並びにその家族への、高度な看護判断と看護援助を探求するとともに、QOLの向上に寄与するアセスメント、看護介入、アドボカシー、患者教育などに関する研究能力を養う。
		がん看護学	がん患者と家族への看護に適用される概念・理論をふまえ、がんとともに生き、QOLを充実させるための看護援助を科学的に探求する。また、がん患者の苦痛・苦悩に対して、倫理的視点を含めた高度な看護判断に基づいた看護援助技術を探求する。さらに、がんをめぐる健康上の諸問題に関して、看護学の視点から実際の看護現象を通して実証的な看護研究を行う。
		慢性看護学	慢性疾患を病む人の生活への身体的、心理的、社会的影響、その理解や看護に必要な概念や理論を学ぶとともに、慢性疾患の予防期から終末期までの看護支援に関わる知識や技術を修得する。また慢性疾患を病む人とその家族の課題を解決し、QOL向上に寄与する実証的な研究に取り組む。
		感染看護学	看護ケアを行ううえで必要な感染防止技術や感染管理方法について科学的に探求し、感染看護の専門的知識・技術を修得する。また、易感染患者や感染症患者のQOL向上に寄与する感染看護実践のあり方や施設および地域における効果的な感染管理システムに関する実証的な研究を行う。

領域	分野名		概要
先進 ケア 科学 領域	ケアシ ステム科学	ヒューマンケア 科学	人の健康や生活の質の向上をはかるヒューマンケアのあり方を探求する。看護実践、看護教育、看護管理の視点において、多角的にヒューマンケアとケアシステムに関する研究を行う。
		療養ケア科学	・健康問題を抱えその療養上の困難を体験する対象を多面的に理解し、身体・心理・社会的な問題と看護援助の現状を把握する。 さらに、療養上の問題を解決する思考過程を培い研究能力を養う。 ・看護基礎教育の現状と課題を整理し、その教育法を検討し研究能力を養う。
		子ども・家族ケア 科学	小児看護学および家族看護学の発展に寄与することを基本理念とする。子どもの健全な成長・発達を保障し、子どもと子どもをもつ家族の健康と幸福の実現を支援するための理論や方法論について探求する。研究を遂行するプロセスを通じて、小児看護学・家族看護学の研究や実践に必要な基礎的能力を養う。
		地域包括ケア 科学	医療、介護、予防、生活支援、社会参加など学際的側面から人々のケアニーズにアプローチする地域包括ケアを探究する。地域包括ケアのモデルや支援の基本を理解し、療養者、虚弱な高齢者などケアニーズの高い人々の生活の質の向上と機能低下予防を目指す基礎的な研究を展開する。
		ヘルスプロモ ーションケア科学	公衆衛生看護学を基盤として、地域で生活するあらゆる人々の健康と福祉の向上のために、人々の健康課題を的確に分析・予測し、かつ予防的に問題解決を図り、革新的な方策の開発等に資する研究能力と実践能力の開発をグローバルな視点から養う。
	生体行動 ケア科学	がん包括ケア 科学	がん患者・家族が体験する身体的・心理的・社会的苦痛を、広範な理論・概念の学びを通して共感的・かつ科学的に理解する。さらに、この学びを発展させ新たながん看護の創生を目指す。同時に、がん看護臨床に働く看護師（集団）の働き方に関する検討も、がん看護の質向上を目指すがん包括ケア科学の探求課題である。
		高齢者生活行動 ケア科学	加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化、認知症等の疾患や障害をもって生活する人々の生活機能について、地域社会を含めた広義の生活環境と合わせて実態を把握する方法を学び、高齢者の生活行動ケアの課題を探究する。
		ウィメンズ ヘルスケア科学	ウィメンズヘルスケアに関連する理論や最新の知見、女性を取り巻く社会情勢をふまえ、女性のライフサイクル各期の健康問題やリプロダクティブヘルスを増進するためのケアを理論的、科学的に探究する。
		精神行動ケア 科学	精神疾患をもつ人々やその家族の行動およびニーズとその援助方法と関連する諸理論を理解し、それらを活用した人々の精神的健康の維持向上に関する看護援助やケアについての研究課題を探求する。
		健康支援基礎 科学	基礎研究：実験医学研究を行う上で必要となる生化学的・細胞生物学的手法を習得すると共に癌および動脈硬化・血管石灰化の治療応用への基礎となる研究を行う。 臨床研究：統計解析手法を習得すると共にそれを用いて糖尿病合併症の発症・進展におけるバイオマーカーの役割について研究する。

4. 修業年数及び学位

- 1) 修業年数 2年
- 2) 学 位 修士（看護学）
Master of Nursing Science

5. 修了要件

【実践看護科学領域】

（修士論文コース）

大学院共通教育科目から1単位（「研究公正 A」 必修1単位）、実践看護科学共通科目4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」 必修4単位）、実践看護科学の分野科目16単位（「実践看護科学特別研究」 必修8単位、基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目 選択8単位）、その他大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から選択科目10単位以上で、必修13単位、選択18単位以上、計31単位以上修得する。

（実践看護研究コース）

大学院共通教育科目から1単位（「研究公正 A」 必修1単位）、実践看護科学共通科目4単位（「理論看護学」、「看護学研究法」 必修4単位）、実践看護科学の分野科目12単位（「実践看護科学課題研究」 必修4単位、基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目 選択8単位）、その他 大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から選択科目14単位以上で、必修9単位、選択22単位、計31単位以上修得する。

【先進ケア科学領域】

（修士論文コース）

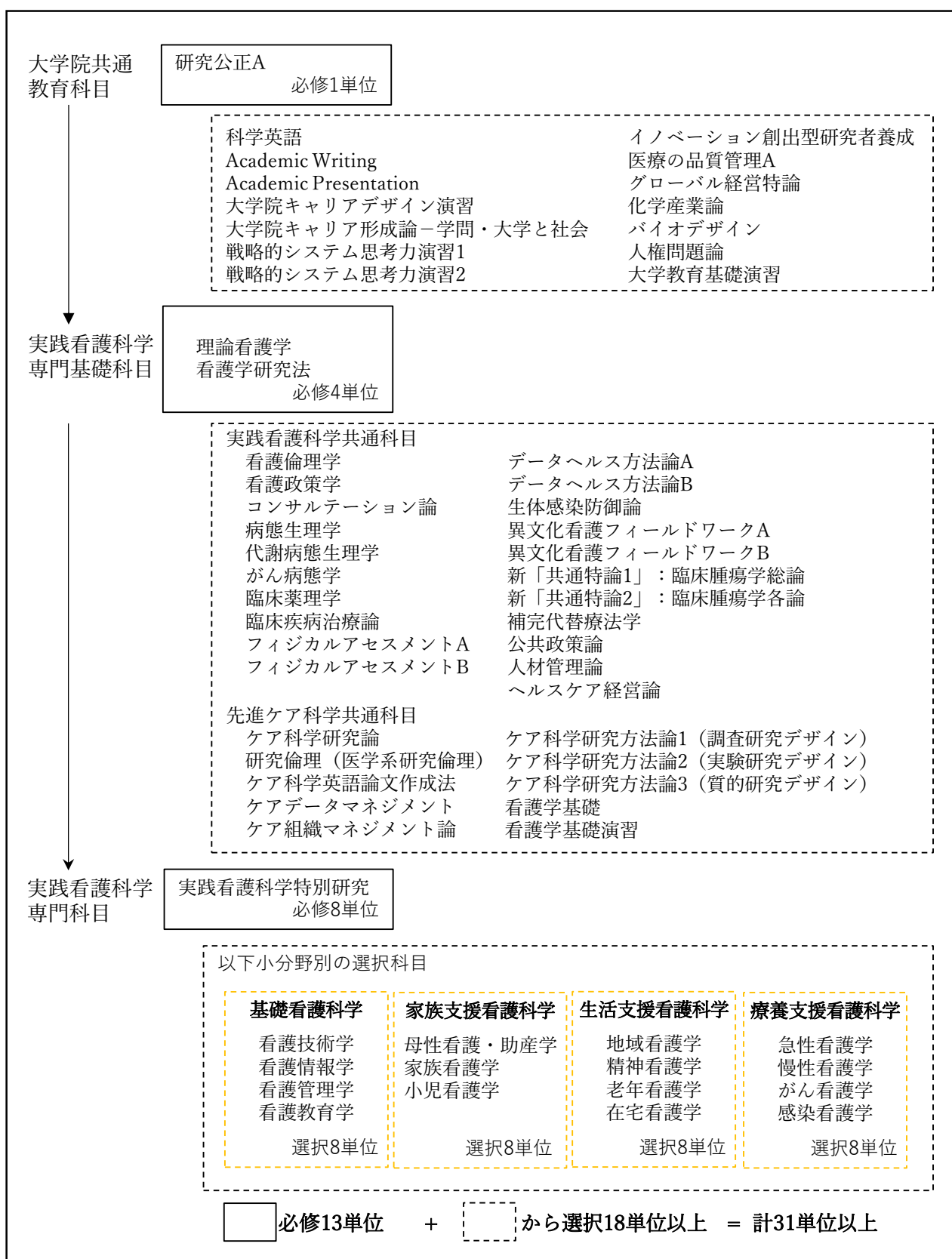
大学院共通教育科目から5単位（「研究公正 A」 必修1単位 選択4単位）、先進ケア科学共通科目12単位以上（「ケア科学研究論」、「研究倫理（医学系研究倫理）」 必修4単位、選択8単位以上）、先進ケア科学科目14単位（「先進ケア科学特別研究 1」、「先進ケア科学特別研究 2」 必修8単位、ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目 選択6単位）で、必修科目13単位、選択科目18単位以上、計31単位以上修得する。

※本研究科は大学院設置基準第14条特例により、社会人学生に合わせて時間割上の配慮をしています。

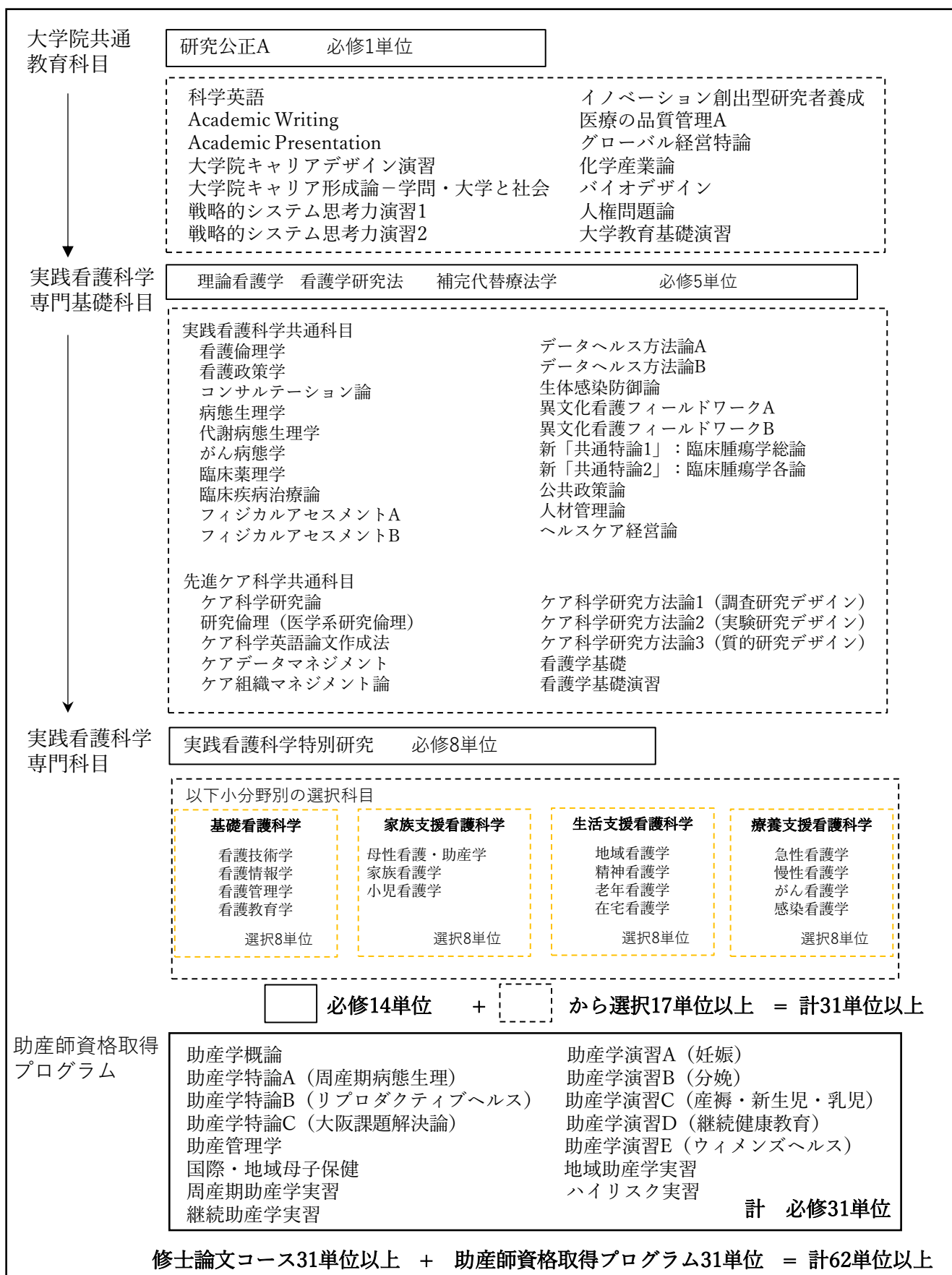
6. 在学年限

博士前期課程の修業年数は2年です。2年間で所定の単位を修得できない場合は在学期間を延長することはできますが、通算4年を超えることはできません。長期履修制度を適用する場合も在学年限は通算4年を超えることはできません。

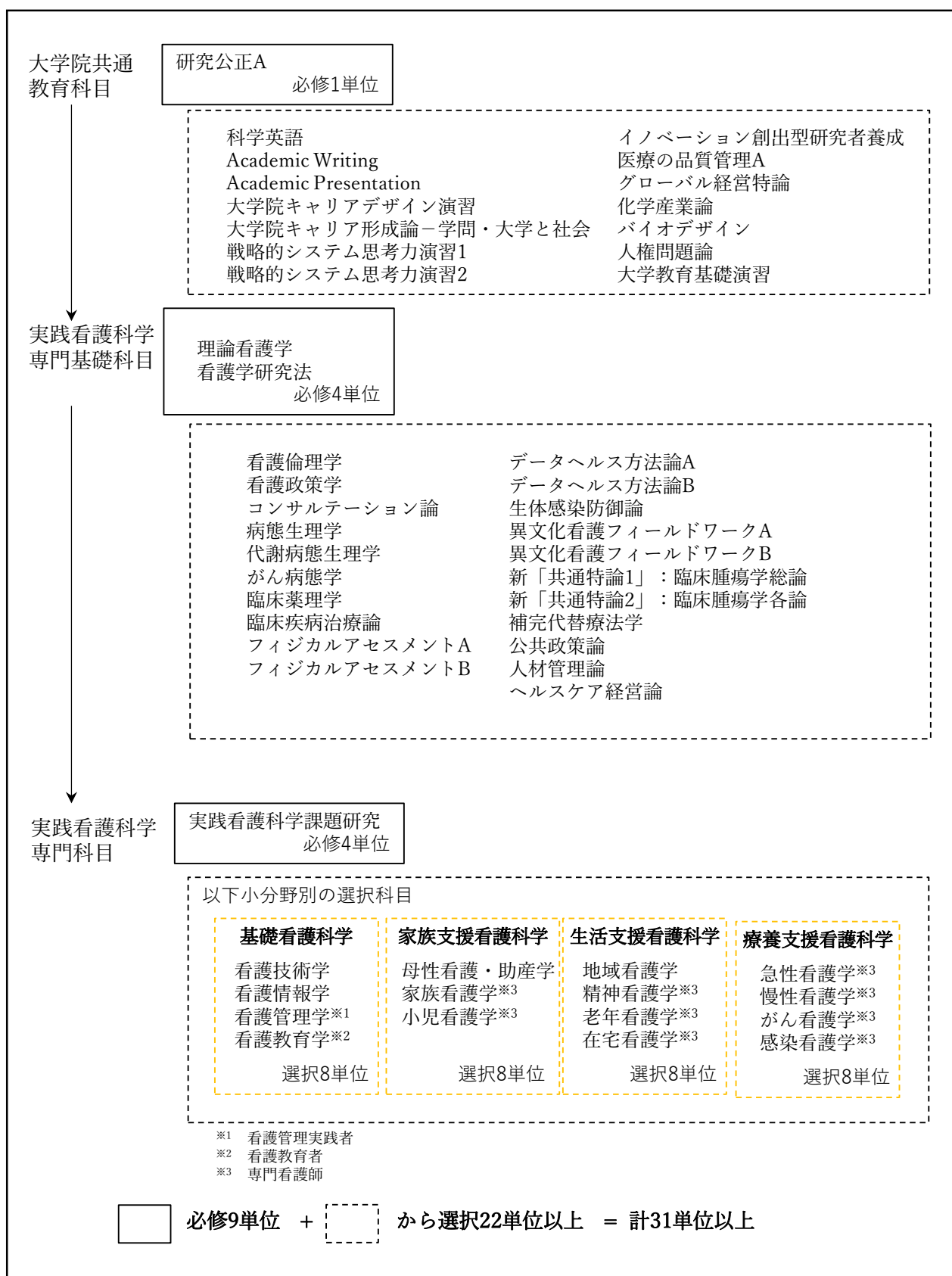
博士前期課程 教育課程構造図：実践看護科学領域 修士論文コース



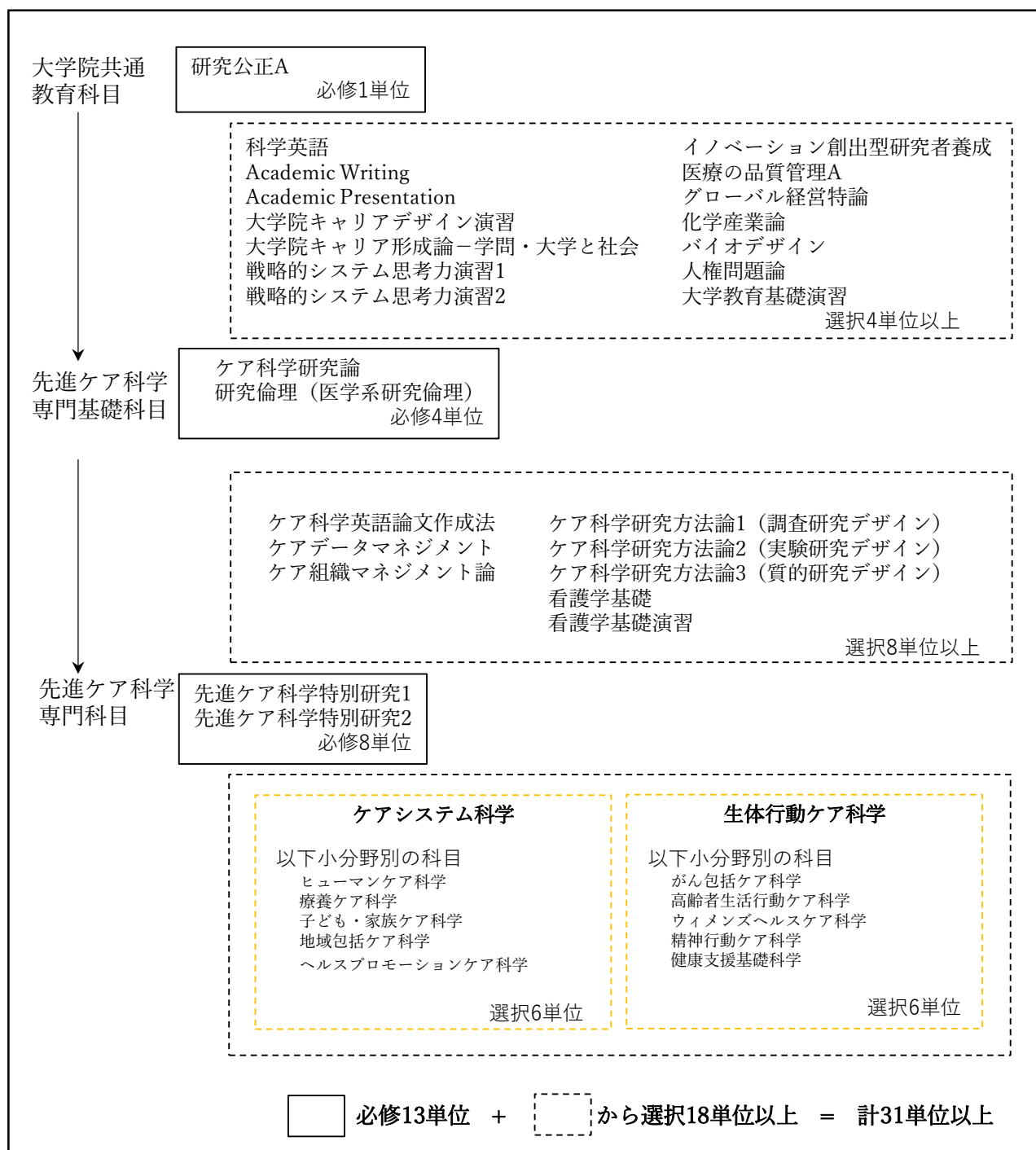
博士前期課程 教育課程構造図：実践看護科学領域 修士論文コース 助産師資格取得プログラム



博士前期課程 教育課程構造図：実践看護科学領域 実践看護研究コース



博士前期課程 教育課程構造図：先進ケア科学領域 修士論文コース



看護学研究科博士前期課程 担当教員一覧・問合せ先

領域	分野名		担当教員	連絡先
実践看護科学領域	基礎看護科学	看護技術学	杉本 吉恵	sugimoto.yoshie@omu.ac.jp
		看護情報学	森本 明子	morimoto@omu.ac.jp
		看護管理学	志田 京子	kshida@omu.ac.jp
		看護教育学	細田 泰子	hosoday@omu.ac.jp
	生活支援看護科学	精神看護学	富川 順子	jtomikawa@omu.ac.jp
		在宅看護学	三輪 恭子	kmiwa@omu.ac.jp
		地域看護学	都筑 千景	tsuzuki@omu.ac.jp
		老年看護学	長畑 多代	tayon@omu.ac.jp
	家族支援看護科学	小児看護学	仁尾 かおり	k-nio@omu.ac.jp
		家族看護学	中山 美由紀	miyuki.nakayama@omu.ac.jp
		母性看護・助産学	渡邊 香織	kaori@omu.ac.jp
	療養支援看護科学	急性看護学	北村 愛子	a-kitamura@omu.ac.jp
		がん看護学	田中 京子	kyoko@omu.ac.jp
		慢性看護学	篠持 知恵子	chiekos@omu.ac.jp
		感染看護学	佐藤 淑子	ysato@omu.ac.jp
先進ケア科学領域	ケアシステム科学	ヒューマンケア科学 (※)	—	—
		療養ケア科学	山口 曜子	yo-yamaguchi@omu.ac.jp
		子ども・家族ケア科学	平谷 優子	hiratani.yuko@omu.ac.jp
		地域包括ケア科学	河野 あゆみ	ayukono@omu.ac.jp
		ヘルスプロモーションケア科学	横山 美江	yyokoyama@omu.ac.jp
	生体行動ケア科学	がん包括ケア科学	作田 裕美	sakuda@omu.ac.jp
		高齢者生活行動ケア科学	白井 みどり	shirai@omu.ac.jp
		ウィメンズヘルスケア科学	玉上 麻美	tamaue.mami@omu.ac.jp
		精神行動ケア科学	松田 光信	mmatsuda@omu.ac.jp
		健康支援基礎科学	塩井 淳	atshioi@omu.ac.jp

(※) 2023 年度はヒューマンケア科学小分野の学生募集は行いません。

博士後期課程

看護学研究科博士後期課程の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

●博士後期課程

博士後期課程は、豊かな学識を有し、看護学分野において社会実装化することを視野に入れた学術的研究を推進し、その深奥を究め、高い倫理観を持ち、自立して研究活動を行い、看護学の知の創造に貢献できる能力を有する人材を育成することを目指しています。

したがって、本研究科の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針を踏まえ、次の能力や適性を身につけた学生を求めています。

【能力】

- ・専門分野に精通した基礎及び応用力を有し、知識と研究成果をグローバルに発信できる基礎的語学力を有する人
- ・豊かな人間性と倫理観を備え、柔軟な思考、洞察力、発想力を有する人

【意欲】

- ・探究心を持ち、看護学の視点から自立して研究に取り組む姿勢を有している人
- ・学際的視野に立ち、看護学の体系化に主体的に取り組む熱意がある人

【志向】

- ・看護学の発展につながる革新的方策を目指し、研究を推進する意志を有する人
- ・地域社会、国際社会において看護の発展に貢献する意欲を有する人

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、以下をご確認ください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/assets/14_Nursing_3Policy_MD.pdf

〔1〕募集人員

専 攻	入学定員	募集人員
看護学	10名	10名

注 選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合や募集人員よりも多くなる場合があります。

※ 第2次募集を実施する場合は、2022年9月に本学Webサイトでお知らせします。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs.html

領域・分野

領域	分野名
実践看護科学 領域	基礎看護科学
	生活支援看護科学
	家族支援看護科学
	療養支援看護科学

領域	分野名
先進ケア科学 領域	ヒューマンケア科学（※）
	療養ケア科学
	子ども・家族ケア科学
	地域包括ケア科学
	ヘルスプロモーションケア科学
	がん包括ケア科学
	高齢者生活行動ケア科学
	ウィメンズヘルスケア科学
	精神行動ケア科学
	健康支援基礎科学

（※）2023 年度はヒューマンケア科学分野の学生募集は行いません。

〔2〕出願資格

【一般選抜】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2023 年3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023 年3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023 年3 月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023 年3 月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2023 年3 月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は2023 年3 月31 日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 外国の学校、出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16 条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科で認められた者
- (8) 平成元年文部省告示第118 号をもって文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2023 年3 月31 日現在において24 歳以上のもの

注1 出願資格(7)から(9)により出願しようとする者は、出願前に「〔12〕出願資格審査」を受ける必要があります。

注2 出願資格(8)の「平成元年文部省告示第118 号をもって文部科学大臣の指定した者」とは、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたものです。

〔3〕研究領域等についての事前相談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要です。出願前に希望する研究指導教員に必ず相談して事前面談を受けてください。

なお、研究分野・領域及び指導教員名は「看護学研究科博士後期課程担当教員一覧・問合せ先」（47 ページ）を参照し、指導教員への連絡は直接メールで行ってください。

事前面談後、事前面談を受けた教員から事前面談確認書（本学所定の様式）の所定欄に、署名を受けてください。事前面談確認書は出願する場合に必要となります。

〔4〕出願手続

出願手続は、インターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。

※大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程若しくは専門職学位課程から引き続き進学する者は、入学検定料は不要です。出願方法を別途ご案内しますので、インターネット出願登録期間初日（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）の1週間前までに、志望研究科、学籍番号及び氏名を入試課（gr-nyu-s@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

1 出願期間

	第1次募集	第2次募集
インターネット出願登録期間	2022年7月1日(金)10:00～ 2022年7月13日(水)17:00	2022年11月4日(金)10:00～ 2022年11月11日(金)17:00
出願書類提出期間	2022年7月6日(水)～ 2022年7月13日(水) ＜7月13日までの消印有効＞	2022年11月7日(月)～ 2022年11月11日(金) ＜11月11日までの消印有効＞

（※）出願書類は簡易書留郵便により郵送してください。本学へ直接持参しても受理できません。

2 出願方法

次の step 1～step 6 の手順で出願を行ってください。

●事前準備		
step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類を A4 サイズの白の用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・〔4〕出願手続 4 出願書類等を参照の上、〔4〕出願手続 1 出願手続 の出願書類提出期間に間に合うようあらかじめご用意ください。

	出願書類等 封入用封筒	・市販の角2号封筒(24cm×33.2cm)を用意し、「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類等を封入してください。 ※「宛名ラベル」は「step 5」を確認してください。
--	----------------	--



step 2	●インターネット出願サイトにアクセス ・本学 Web サイトにアクセスの上、出願登録期間中（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）にインターネット出願サイトにアクセスしてください。 本学 Web サイト URL https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html	



step 3	●出願登録 ・インターネット出願サイトの「利用案内」「出願手順」「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ※出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。	



step 4	●入学検定料等の支払い ・インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)から(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。（〔4〕出願手続 3 入学検定料等の支払方法 参照） ・入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。				
	(1)	(2)	(3)	(4)	
	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM (ペイジー)	ネットバンキング	



step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷 ・登録したユーザーID、パスワードにて再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4サイズの白の用紙に片面で印刷してください。 ※インターネット出願登録期間内（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。	



step 6	●出願書類の郵送 ・〔4〕出願手続 4 出願書類等 を参照の上、出願書類を簡易書留郵便により郵送してください。 ※出願書類提出期間に必要な書類が到着しなければ、出願は受理できませんので、郵便事情を十分考慮し、余裕を持って郵送してください。（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）	

3 入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・ 入学検定料 30,000 円
- ・ 支払手数料 990 円

※大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程若しくは専門職学位課程から引き続き進学する者は、入学検定料は不要です。出願方法を別途ご案内しますので、インターネット出願登録期間初日（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）の1週間前までに、志望研究科、学籍番号及び氏名を入試課（gr-nyu-s@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

支払方法は、次の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払のみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM（ペイジー）	金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

4 出願書類等

インターネット出願サイトにて出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を全てそろえて出願書類提出期間に提出してください。出願書類等は、必ず以下の「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。

本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードすることもできます。

（A4 サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限り PC 等での作成も可。手書きの場合は、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、本人が記入してください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs.html

【注意事項】

- ・ 氏名が卒業証明書、成績証明書等の氏名と異なる場合は、そのことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。※原本（コピー不可）
- ・ 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。個人の署名や印では認めません。
- ・ 出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・ 必要に応じて、追加書類の提出を求めることがあります。

【一般選抜】

1	出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズの白の用紙に印刷してください。
2	入学願書	本学所定の様式に必要事項を記載すること。
3	修士課程又は専門職学位課程修了卒業（見込）証明書 ※原本（コピー不可）	出身大学長等が作成したもの。 （〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は不要です。）
4	成績証明書（修士課程） ※原本（コピー不可）	出身大学長等が作成したもの。 （〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は不要です。）
5	成績証明書（学部等） ※原本（コピー不可）	出身大学長等が作成したもの。看護系の短期大学、専修学校等を卒業した者は、その証明書も提出してください。 ※編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。 （〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は不要です。）
6	事前面談確認書	本学所定の様式。 事前面談確認書に志望する分野の教員の署名を受けたもの。 （注） <u>事前の出願資格審査に提出した者は、省略できます。</u>
7	研究業績調書	本学所定の用紙を用い、5部提出してください。学術論文、著書、研究発表、特許などのほか、教育、実務、国際的活動における特異な実績等を各実績について200字程度で記載してください。 〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は、出願資格審査申請書類として提出した「研究業績調書」をこれに替えるものとします。
8	修士論文等の要旨	A4 サイズの白の用紙を用い、2,000字程度で記載したものを5部提出してください。 出願時に修士課程修了見込みの者は、経過報告を含む要旨を提出してください。
9	研究計画書	A4 サイズの白の用紙（2枚程度）を用い、博士後期課程入学（進学）後に実施しようと考えている研究計画について、課題、動機、目的及び方法などを分かりやすくまとめて5部提出してください。
10	出願資格認定通知書	〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は、提出してください。
11	写真票	本学所定の様式に必要事項を記載し、縦4cm×横3cmの写真（上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。
12	宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。

5 出願についての注意

- (1) 〔4〕出願手続 1 出願期間 内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵

便にて出願書類提出期間最終日までの消印有効)の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

(2) 志願者情報の入力について

住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、看護学研究科学務課事務室(阿倍野キャンパス)まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。

(3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。

(4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。

(6) 既納の入学検定料は次の事由以外は還付しません。

○還付可能な事由

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込みした場合
- ・引き続き進学する者が、入学検定料を払い込みした場合

(注) 還付方法等は、出願書類提出期間最終日から1か月以内に入試課に問い合わせてください。

※インターネット出願サイトの操作方法に関する問い合わせは、出願サイトで確認してください。

6 受験票について

受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録したメールアドレスあてに通知します。通知後、インターネット出願サイトにユーザーID・パスワードを入力し、A4サイズの白の用紙に受験票の印刷を各自で行ってください。

試験日2週間前になってもメールが届かない場合は、必ず本研究科までご連絡ください。

なお、受験票は試験当日に忘れずに持参してください。

7 受験上・修学上の配慮について

障がいがある等、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、原則として以下の期日までに、看護学研究科学務課事務室(阿倍野キャンパス)に申し出てください。

第1次募集	第2次募集
2022年7月1日(金)	2022年10月28日(金)

〔5〕入学者選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。試験会場は、本学阿倍野キャンパス看護学科学舎(JR「天王寺駅」、大阪メトロ「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩10分)です。

受験の際には、各自で印刷した受験票を必ず持参してください。

1 試験科目

- (1) 英語 医療・保健・福祉・看護に関わる英語論文や英文記事をもとに、和訳、読解問題を課します。英和又は和英辞典を1冊のみ持込可（電子辞書は不可）とします。
- (2) 口述試験 これまでの研究の概要及び研究計画書の内容について、15分以内で口頭発表を行っていただきます。その後、口述試験委員との間で質疑応答を行います。なお、口頭発表にあたっては、パワーポイント等の使用を可とします。

2 試験日時・配点

(1) 試験日

第1次募集	第2次募集
2022年8月30日(火)	2022年12月11日(日)

(予備日)

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

第1次募集	第2次募集
2022年8月31日(水)	2022年12月17日(土)

※なお、博士後期課程の試験日に自然災害等の影響を直接受けない場合でも、予備日に試験を実施する場合があります。

※試験等が予定通り実施できない場合、本学Webサイトにてお知らせしますので、確認してください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/g_s_nurs.html

(2) 試験時間割・配点

科目名	時間	配点
英語	10:00～11:30	100点
口述試験	13:00～	100点

〔6〕合格者発表等

1 合格者発表

第1次募集	第2次募集
2022年9月13日(火)10:00	2022年12月22日(木)10:00

合格者については、本人あてに通知します。また、合格者の受験番号を本学Webサイトに掲載します。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html

Webサイトの掲載期間は、合格者発表日の10時から合格者発表日を含む7日目の17時までです。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。



2 合格通知書及び入学手続書類

合格者には、合格通知書とともに、入学手続書類等を送付します。

〔7〕入学手続等

	第1次募集	第2次募集
提出期限（必着）	2022年9月22日(木)	2023年1月17日(火)

- ・郵送で期限内必着です。ただし、上記期限を過ぎて書類が到着した場合、期限2日前の消印有効として受理します。
- ・手続きの詳細については、合格者に通知します。
- ・入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

〔8〕学費（入学料・授業料）

現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。

- 1 入学料 「大阪府民及びその子」282,000円 「その他の者」382,000円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2023年春入学者の場合は2022年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票を有する者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

- ・大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程若しくは専門職学位課程から引き続き進学する者は、入学料は不要です。
- ・入学料は、入学手続日までに所定の振込用紙にて納付してください。
- ・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、入学を辞退した場合でも入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません

- 2 授業料 [年額] 535,800円

- ・授業料は、年額の1/2を半期毎に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が上記と異なることがあります。

- 3 その他の必要経費

- ・研究のための経費など

〔9〕経済支援制度について

詳細については、確定次第、改めて大阪公立大学のWebサイトにてご案内します。

〔10〕長期履修制度

職業を有している等の事情により標準修業年限での就学が困難な方に対して、標準修業年限（博士後期課程3年）を超えて一定の期間にわたり計画的な教育課程の履修を認めるものです。

（1）申請資格

長期履修の申請は、博士後期課程に入学しようとし、次のいずれかに該当する者です。

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 育児・介護等の事情を有する者
- ③ その他、相当の理由があると認められる者

（2）長期履修期間

長期履修期間は、4～6年間で研究科が認める期間とします。

- ・1年を単位とし、長期履修を適用せずに在学する期間を通算して在学年限を超えないものとします。（修了による短縮は年度途中でも可とする。）

例）申請資格のある合格者が、入学手続時に最長の長期履修を申請する場合

$$3 \text{ 年（標準修業年限）} - 0 \text{ 年（在学期間）} = 3 \text{ 年} \times 2 \text{ 倍} = 6 \text{ 年（長期履修期間）}$$

- ・入学後に申請できる長期履修期間は、修業年限から在学期間を差し引いた期間の2倍以内とします。

例）申請資格のある1年次生が、次年度より長期履修制度を利用する場合

$$3 \text{ 年（標準修業年限）} - 1 \text{ 年（在学期間）} = 2 \text{ 年} \times 2 \text{ 倍} = 4 \text{ 年（長期履修期間）}$$

（3）申請手続

本研究科の入学者選抜に合格した者のうち、長期履修を希望する場合は、指導予定教員と相談の上、申請書類を提出してください。

（4）申請期限

入学手続書類にて別途お知らせいたします。

（5）申請書類

- ① 長期履修願
- ② 次に定める申請資格の確認できる書類

区 分	必要書類
職業を有し、就業している者	在職証明書又はそれに代わるもの
育児、介護等の事情を有する者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第三者等の申立書等のいずれか
その他、相当の理由があると認められる者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第三者等の申立書等のいずれか

（6）可否の認定

申請書類を審査のうえ、許可の可否を決定し、出願者へ通知します。

（7）授業料

長期履修制度の申請が認められた場合、徴収する授業料の年額は、長期履修期間に限り、授業料の年額に修業年限に相当する年数を乗じた額を長期履修期間の年数で除した額とします。納付する授業料総額は基本的に正規の金額（3年間分）に等しくなります。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることになります。

(8) 期間短縮申請

長期履修を認められた者が、入学後、当該履修期間短縮を希望する場合には、本研究科が定める期間において長期履修短縮申請書を提出し、期間を短縮することができます。

また、修了の期間の短縮は、年度途中でも可能です。

(9) 注意事項

- ① 長期履修制度を希望する者は、志望分野の教授に必ず事前に相談し、了承を得てください
- ② 博士後期課程の在学年限は6年です。長期履修を認められた者も在学年限は6年となります。
- ③ 申請をした者は必ず長期履修が承認されるということではありません。

〔11〕 その他

1 個人情報保護の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (2) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

2 個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供期間

第1次募集	第2次募集
2022年11月1日（火）10:00～ 2022年11月30日（水）15:00	2023年5月9日（火）10:00～ 2023年6月9日（金）15:00

(2) 提供対象者

受験者本人に限ります。

(3) 請求方法

下記 URL にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/score.html



ア 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず4桁の成績開示用暗証番号を登録してください。成績開示用暗証番号は、出願登録時にのみ登録できます。成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますが、取扱いに十分注意してください。

イ 成績開示用パスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。

例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「987654」の場合は「1230987654」となります。

ウ 本人確認として生年月日の入力が必要です。

- 3 出願書類に虚偽があった場合、または入学者選抜において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

- 4 出願資格認定による出願者で、本研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- 5 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規定を定め、物品の輸出及び技術の提供の観点から厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
- 6 希望者には去年度の入試問題を配付します。また、送付希望者に対して郵送（ただし、送料は送付希望者負担）も行っています。

【窓口】

大阪公立大学大学院看護学研究科事務室

・羽曳野キャンパス 羽曳野キャンパス事務所入試担当 TEL 072-950-2117

・阿倍野キャンパス 看護学研究科学務課事務室 TEL 06-6645-3511

受付時間 月～金曜日（祝日及び休業日を除く）9：00～17：00（12：00～12：45を除く）

※郵送希望の場合は、羽曳野キャンパスが窓口となります。

〔12〕出願資格審査

〔2〕出願資格(7)から(9)に該当する者が対象です。

1 出願資格審査の申請について

必ず看護学研究科事務室（阿倍野キャンパス）へ事前連絡をし、出願資格審査申請書（本学所定の様式）は、本学 Web サイトからダウンロードし、A4 サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs.html

注1 旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わったことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。※原本（コピー不可）

注2 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。個人の署名や印では認めません。

①出願資格(7)により出願しようとする者

以下の期日までに看護学研究科学務課事務室(阿倍野キャンパス)までお問い合わせください。

第1次募集	第2次募集
2022年6月9日(木)	2022年10月13日(木)

②出願資格(8)により出願しようとする者

資格審査対象者は、次のとおりです。

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	出身大学・学部 of 成績証明書	学長又は学部長が発行したもの
3	研究期間証明書	大学長等、研究科長が作成したもの
4	研究業績調書	本学所定の様式を用い、学術論文、著書、研究発表、特許などの

		ほか、教育、実務、国際的活動における特異な実績等を各実績について 200 字程度で記載してください。
5	論文	既に査読のある学術雑誌に発表した筆頭論文(原著)
6	結果通知用封筒	返信用封筒(長形 3 号 23.5cm×12cm)に 404 円分(※)の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金 320 円と定形郵便 84 円分。郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

③出願資格(9)により出願しようとする者

資格審査対象者は、次のとおりです。

看護系の短期大学、専修学校等を卒業又は修了した後、次の年数以上(2023 年 3 月までの見込を含む)、実務経験を有する者です。

ただし、実務経験とは、保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許を取得のうえ、看護職として携わった業務に関する経験をいうものとします。

2 年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 5 年以上

3 年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 4 年以上

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	出身大学(看護系)の卒業・修了証明書	学校長が発行したもの
3	出身大学(看護系)の成績証明書	学校長が作成したもの
4	出身大学(看護系)の規定等	外国の教育課程を卒業した場合のみ提出 学則又はこれに相当するもの(コピー可)
5	保健師、助産師、看護師免許(写し)	免許を有する者は、免許証の写しを提出してください。
6	在職期間証明書	実務経験を有することの所属長等の証明書
7	研究業績調書	本学所定の様式を用い、学術論文、著書、研究発表、特許などのほか、教育、実務、国際的活動における特異な実績等を各実績について 200 字程度で記載してください。
8	論文	既に査読のある学術雑誌に発表した筆頭論文(原著)
9	結果通知用封筒	返信用封筒(長形 3 号 23.5cm×12cm)に 404 円分(※)の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金 320 円と定形郵便 84 円分。郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

2 受付期間等

第 1 次募集	第 2 次募集
2022 年 6 月 21 日(火)～ 2022 年 6 月 23 日(木)必着	2022 年 10 月 25 日(火)～2022 年 10 月 27 日(木)必着 2022 年 10 月 24 日(月)～2022 年 10 月 31 日(月)必着

(注) 簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。

送付先（問合せ先）

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号

大阪公立大学 阿倍野キャンパス 看護学研究科学務課事務室

Tel 06 - 6645 - 3511

（注）封筒の表には「看護学研究科博士後期課程出願資格審査書類在中」と「赤色」で書いてください。

3 審査の結果

申請書類により審査し、出願書類提出期間最終日の1週間前までに郵送で通知します。

なお、2023年度本研究科入学者選抜に限り有効です。

看護学研究科博士後期課程の概要

1. 教育理念

生命と人権の尊重を基盤とし、保健医療福祉および社会の諸変化に対して人々のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）を志向した創造的・豊かな実践や研究をけん引できる実践者、研究者、教育者を育成し、看護学および地域の発展と国際社会に貢献します。

2. 教育目的・目標

豊かな学識を有し、看護学を含む保健医療福祉分野において学術的研究を推進し、その深奥を究め、高い倫理観を持ち、自立して研究活動を行い、看護学の知の創造に貢献できる能力を有する人材を育成することを目的とします。

3. 教育課程

豊かな学識を有し、看護学を含む保健医療福祉分野において学術的研究を推進し、その深奥を究め、高い倫理観を持ち、自立して研究活動を行い、看護学の知の創造に貢献できる能力を有する人材を育成するために、専門領域を先進ケア科学領域と実践看護科学領域の2領域を配置します。さらに、先進ケア科学領域では10分野に、実践看護科学領域では4分野とし、専門性の高い多様な分野を配置しています。

各分野の特色は次に示す通りです。

領域	分野名	概要
実践看護科学領域	基礎看護科学	看護を取り巻く環境変化を踏まえ、俯瞰的な視座のもと、看護実践の基盤となる基礎看護科学の理論や方法論およびその適用を探究する。さらに、専門分野における概念を探究し、知識を体系化するとともに、看護の質向上や人材育成に向けて科学的根拠を提供する実証的な研究を行う。
	生活支援看護科学	地域で生活する個人・家族・集団、在宅・施設で生活する療養者や高齢者とその家族、そして精神疾患を持つ療養者とその家族の健康の維持増進や疾病予防、あるいは療養生活を支援する看護技術の開発につながる理論や方法論を探究する。また、それぞれの課題解決を可能にする理論や方法論の構築に向けた実証的な研究を行う。
	家族支援看護科学	家族の発達段階の出発点である妊娠、出産、育児期から終末期まで子ども、親、女性、家族の健康課題や健康問題に対処するための理論、概念、方法論について探求し、看護支援の体系化を図り、社会の変化に対応できる実証的な研究を行う。
	療養支援看護科学	急性疾患、慢性疾患、がん、感染症などの予防期、急性期から終末期に至る様々な時期にある患者とその家族の身体・心理・社会的問題、ならびに倫理的課題について医療の現状を踏まえ、国際的、文化的視点を持ち、多角的に探究する。そして、その課題解決のために学際的視野をもちながら実装化に向けた研究を行うことで、臨床における看護学の知の創生に貢献する。
	ヒューマンケア科学	看護実践、看護教育、看護管理において、人の 'Health' と 'Well-being' の維持・向上に寄与するケアやケアシステムの確立を目指した研究を行う。看護学、工学、心理学、社会学といった多様な関連学問の '知' に基づき研究手法を探究する。

領域	分野名	概要
先進 ケ ア 科 学 領 域	療養ケア科学	健康問題を抱えるあるいはその可能性がある対象を多面的に理解し、健康状態の維持・調整を行う方法を専門的知識と看護技法から検討する。さらに、社会の情勢を踏まえ様々な技法を駆使し、健康維持・増進のシステム構築・開発を行う。
	子ども・家族ケア科学	小児看護学および家族看護学の発展に寄与することを基本理念とする。子どもの健全な成長・発達を保障し、子どもと子どもをもつ家族の健康と幸福の実現を支援するための理論や方法論について探求する。研究を遂行するプロセスを通じて、小児看護学・家族看護学の研究や実践に必要な独創性・創造性を養う。
	地域包括ケア科学	地域包括ケアに関するエビデンスを系統的に蓄積し、持続可能で有効な地域包括ケアの方策を深く追究する。特に、療養者、虚弱な高齢者などケアニーズの高い人々の生活の質の向上と機能低下予防を目指す地域包括ケアシステムの発展を促進する実証的な研究を展開する。
	ヘルスプロモーションケア科学	公衆衛生看護学の関連分野における課題解決のための革新的な方策の開発等に資する学問の発展に寄与し、かつグローバルに活躍できる教育研究者を育成する。少子高齢化および国際化に伴い激動する社会の健康課題を、自由な発想と科学的根拠に基づいて課題解決できる研究能力を養う。
	がん包括ケア科学	がん患者の診断・治療過程に活用する複雑な症状マネジメント、生活者としてのがんサバイバーが直面する自立（療養と職業の両立）への支援、先進治療の進展とともに生じている倫理的諸問題、がん看護の多様な臨床に働く看護師（集団）の働き方を含めた医療経済政策等、がん看護臨床の今日的課題を包括的に探究する。
	高齢者生活行動ケア科学	高齢者やその予備段階の人々が加齢に伴う変化に適応し、QOL 向上にむけた生活行動が実現できるように、健康増進や生活機能の維持・向上に向けたケアを追求し、高齢者生活行動ケア科学の発展に向けてエビデンスを蓄積する。
	ウィメンズヘルスケア科学	女性の生涯にわたる健康を保持・増進するケアを学際的・科学的に検証し、実社会に還元する方法を探究する。さらに、ウィメンズヘルスケアの新しい知見とその価値について研究プロセスを通して明らかにし、高い倫理観と創造性を持ち看護実践を変革し、発信できる研究者・実践者の育成を目指す。
	精神行動ケア科学	精神保健医療福祉の現場が抱える課題を看護の視点で明確化し、精神疾患をもつ人やその家族の生活行動およびニーズを理解することによって、彼らの生活の質向上に貢献する独創的な看護介入方法の開発を行う。
	健康支援基礎科学	基礎研究：腫瘍抑制遺伝子および腫瘍血管新生阻害による癌治療あるいは動脈硬化・血管石灰化の治療法の確立を目指したより発展的な研究を遺伝子改変マウスを用いて行う。 臨床研究：糖尿病、慢性腎臓病および老年病の発症・進展における血管石灰化の臨床的意義について主に疫学的研究を行う。

4. 修業年数及び学位

- 1) 修業年数 3年
- 2) 学 位 博士（看護学）
Doctor of Philosophy (Nursing Science)

5. 修了要件

15 単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

必修科目 9 単位、選択科目 6 単位とし、大学院共通教育科目から 1 単位（必修 1 単位）、専門科目から 14 単位（必修 8 単位 選択 6 単位）を修得し、15 単位以上修得すること。

なお、先進ケア科学領域では、専門科目の専門基礎科目の選択科目うち、「ケア科学研究総論」は必修、「生体行動評価論」または「ケアシステム開発論」から 1 単位を選択必修科目とする。

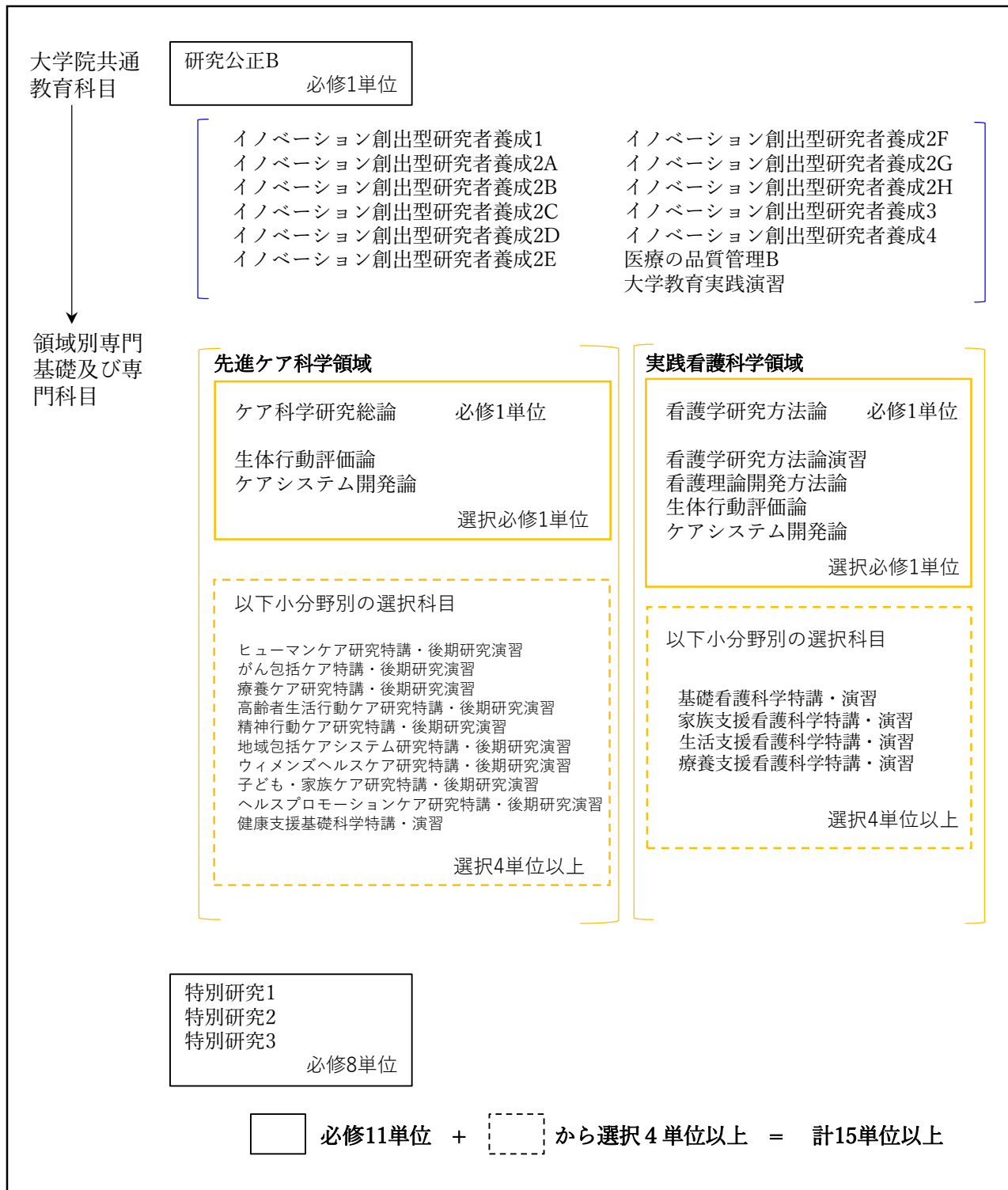
実践看護科学領域では、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「看護学研究方法論」は必修、「看護理論開発方法論」、「生体行動評価論」、「ケアシステム開発論」、「看護学研究方法論演習」から 1 単位を選択必修科目とする。

※本研究科は大学院設置基準第 14 条特例により、社会人学生に合わせて時間割上の配慮をしています。

6. 在学年限

博士後期課程の修業年数は 3 年です。3 年間で所定の単位を修得できない場合は在学期間を延長することはできますが、通算 6 年を超えることはできません。長期履修制度を適用する場合も在学年限は通算 6 年を超えることはできません。

博士後期課程 教育課程構造図



看護学研究科博士後期課程 担当教員一覧・問合せ先

領域	分野名	担当教員	連絡先
実践看護科学領域	基礎看護科学	杉本 吉恵	sugimoto.yoshie@omu.ac.jp
		森本 明子	morimoto@omu.ac.jp
		志田 京子	kshida@omu.ac.jp
		細田 泰子	hosoday@omu.ac.jp
	生活支援看護科学	富川 順子	jtomikawa@omu.ac.jp
		三輪 恭子	kmiwa@omu.ac.jp
		都筑 千景	tsuzuki@omu.ac.jp
		長畑 多代	tayon@omu.ac.jp
	家族支援看護科学	仁尾 かおり	k-nio@omu.ac.jp
		中山 美由紀	miyuki.nakayama@omu.ac.jp
		渡邊 香織	kaori@omu.ac.jp
	療養支援看護科学	北村 愛子	a-kitamura@omu.ac.jp
田中 京子		kyoko@omu.ac.jp	
簗持 知恵子		chiekos@omu.ac.jp	
佐藤 淑子		ysato@omu.ac.jp	
先進ケア科学領域	ヒューマンケア科学 (※)	—	—
	療養ケア科学	山口 曜子	yo-yamaguchi@omu.ac.jp
	子ども・家族ケア科学	平谷 優子	hiratani.yuko@omu.ac.jp
	地域包括ケア科学	河野 あゆみ	ayukono@omu.ac.jp
	ヘルスプロモーションケア科学	横山 美江	yyokoyama@omu.ac.jp
	がん包括ケア科学	作田 裕美	sakuda@omu.ac.jp
	高齢者生活行動ケア科学	白井 みどり	shirai@omu.ac.jp
	ウィメンズヘルスケア科学	玉上 麻美	tamaue.mami@omu.ac.jp
	精神行動ケア科学	松田 光信	mmatsuda@omu.ac.jp
	健康支援基礎科学	塩井 淳	atshioi@omu.ac.jp

(※) 2023 年度はヒューマンケア科学分野の学生募集は行いません。

本学所定様式

〈願書等の記入要領〉

- (1) 受験番号欄等の※印の欄には記入しない。
- (2) 手書きの場合は、黒のボールペンを使用し、はっきりと記入する（消せるボールペンは使用しないこと）。
- (3) 願書等の記入欄には、該当事項を記載する。また、選択する事項については、該当する項目を「○」で囲むか、チェックボックスにチェックを入れる。
- (4) 連絡先の電話番号は日中連絡の取れる番号を記載する。
- (5) 手書きで誤って記入した場合は、該当箇所を二本線で抹消する。
- (6) 写真票は、志望する分野、名前（フリガナ）及び生年月日を記載し、写真を貼付する。
- (7) 年号の記載欄は全て西暦で記載する。

※出願に当たっては、各様式の欄外に記載されている注釈もよく読み、記載漏れ・記載誤り・書類の添付漏れ等がないよう十分注意してください。

※申請書類・出願書類は、特記事項がない限り全て原本を提出してください。

記載例（願書の履歴欄）

学 歴 （高等学校等卒業から記入してください）		
1999 年 3 月	●●高等学校	卒業
1999 年 4 月	▲▲大学経済学部経済学科	入学 編入学
2003 年 3 月	▲▲大学経済学部経済学科	卒業（見込） 退学
2004 年 4 月	××大学看護学部看護学科 2 年次編入	入学 編入学
2007 年 3 月	××大学看護学部看護学科	卒業（見込） 退学
2010 年 4 月	■●専門学校保健科	入学 編入学
2011 年 3 月	■●専門学校保健科	卒業（見込） 退学
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

職 歴			
2007 年 4 月	●●病院 看護師	入職 ・ 退職 ・ 異動	
2008 年 4 月	●●病院 看護師（主任）	入職 ・ 退職 ・ 異動	昇任
2009 年 3 月	●●病院 看護師（主任）	入職 ・ 退職（見込） 異動	
2009 年 4 月	▲▲クリニック（非常勤看護師）	入職 ・ 退職 ・ 異動	
2011 年 4 月	■●保健センター（非常勤保健師）	入職 ・ 退職 ・ 異動	兼業
2013 年 3 月	▲▲クリニック（非常勤看護師）	入職 ・ 退職（見込） 異動	
2013 年 4 月	××大学看護学部 非常勤講師	入職 ・ 退職 ・ 異動	任用
2015 年 6 月	◆◆市 ○○審査会委員	入職 ・ 退職 ・ 異動	受嘱
2016 年 3 月	■●保健センター（非常勤保健師）	入職 ・ 退職（見込） 異動	
年 月	現在に至る	入職 ・ 退職 ・ 異動	
年 月		入職 ・ 退職 ・ 異動	
年 月		入職 ・ 退職 ・ 異動	
年 月		入職 ・ 退職 ・ 異動	
年 月		入職 ・ 退職 ・ 異動	

（注 1） 手書きの場合は、黒のボールペンを使用し、はっきりと記入すること（消せるボールペンは不可）。

（注 2） 学歴については、高等学校卒業から記載すること。

（注 3） 年号は西暦で記載すること。

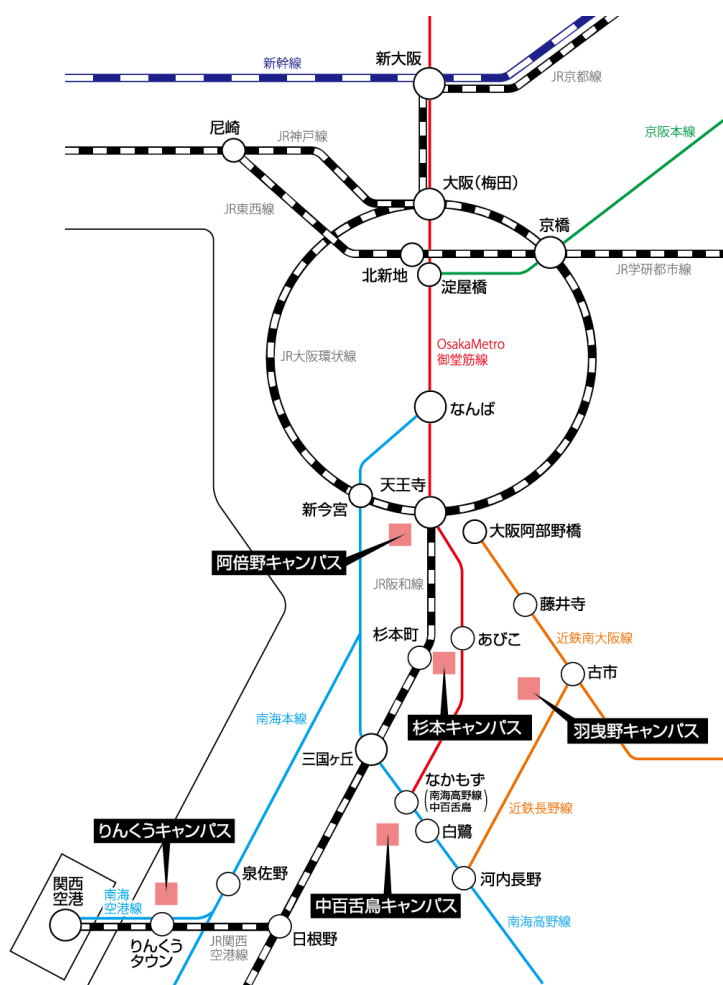
（注 4） 願書の欄が足りない場合は、本様式をコピーし、複数枚を使って記載すること。

出願書類チェック表

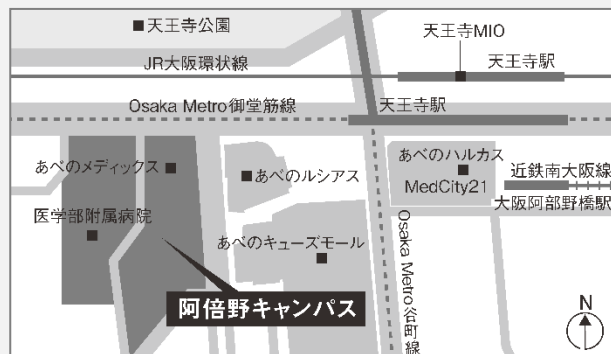
博士前期課程 出願書類等		チェック欄	博士後期課程 出願書類等		チェック欄
1	出願確認票（大学提出用）		1	出願確認票（大学提出用）	
2	入学願書		2	入学願書	
3	事前面談確認書		3	事前面談確認書	
4	写真票		4	写真票	
5	大学の卒業（見込み）証明書等 又は学位授与（申請受理）証明書		5	修士課程（博士前期課程）修了（見込み） 証明書等	
6	出身大学の学長又は学部長が作成した 成績証明書 又は学位授与機構に学位授与申請した者 はその時に提出した各教育機関の 成績証明書		6	修士課程（博士前期課程）にかかる 成績証明書	
7	大学以外の教育機関で受けた 看護教育の成績証明書【該当者のみ】		7	学部にかかる成績証明書 又は学位授与機構に学位授与申請した者 はその時に提出した各教育機関の 成績証明書	
8	証明書と氏名が異なる理由を示した書類 （戸籍抄本等）【該当者のみ】		8	証明書と氏名が異なる理由を示した書類 （戸籍抄本等）【該当者のみ】	
9	証明書の和訳又は英訳【該当者のみ】		9	証明書の和訳又は英訳【該当者のみ】	
10	出願資格認定通知書 【該当者のみ】		10	修士論文の要旨 5 部 ※修士の学位を取得見込みの者は修士論 文の経過報告を含む要旨を 5 部	
11	看護師等免許証写し 【助産師資格取得プログラム又は社会人 特別選抜のみ】		11	研究業績調書 5 部	
12	在職期間証明書 【社会人特別選抜のみ】		12	博士後期課程における研究計画書 5 部	
13	志望する領域に関する実績 【社会人特別選抜のみ】		13	出願資格認定通知書 【該当者のみ】	
14	研究課題書【社会人特別選抜のみ】				

- ・ 出願書類等は、上表のチェック欄でチェックのうえ、1～14 の順に重ねて郵送してください。
- ・ 出願資格審査を受けられた方は、出願資格審査申請書類と重複する書類を、出願書類から省略することができます。

交通アクセス

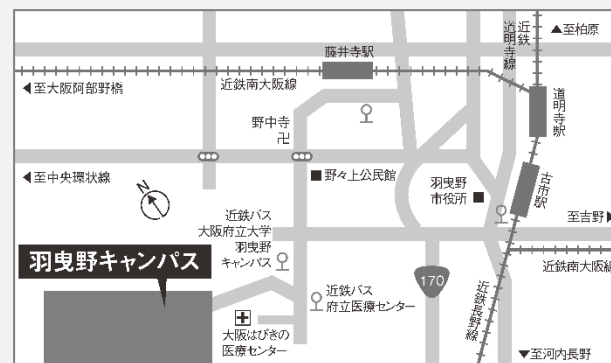


■阿倍野キャンパス



- ・JR・Osaka Metro「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩約10分

■羽曳野キャンパス



- ・近鉄南大阪線「藤井寺駅」下車、南口近鉄バス（1番のりば71、78系統、3番のりば（銀行前）61、62、65、66、67系統）で約10分、「府立医療センター」下車、徒歩約10分
- ・近鉄南大阪線「古市駅」下車、近鉄バス（1番のりば87系統）で約10分、「大阪府立大学羽曳野キャンパス」下車。又は近鉄バス（2番のりば81、82系統）で約10分、「府立医療センター」下車、徒歩約10分

問合せ先

■専攻・分野・受験科目・過去問題等

大阪公立大学大学院看護学研究科事務室

TEL 06-6645-3511（阿倍野キャンパス）

TEL 072-950-2117（羽曳野キャンパス）

月～金曜日（祝日及び休業日を除く）

9:00～17:00（12:00～12:45を除く）

■出願手続等

大阪公立大学 入試課（杉本キャンパス）

TEL:06-6605-2141

月～金曜日（祝日及び休業日を除く）

9:00～17:00（12:00～12:45を除く）

■杉本キャンパス



- ・JR 阪和線「杉本町（大阪市立大学前）駅」下車、東口からすぐ
- ・Osaka Metro 御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約15分